

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 43 号 2021 年 3 月

九州支部ウェブサイト

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2020 年度 日本分析化学会九州支部
〒852-8521 長崎県長崎市文教町 1-14
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
薬品分析化学研究室

新旧支部長からのごあいさつ

支部長就任のご挨拶

日本分析化学会九州支部の皆さま、こんにちは。前任の黒田直敬 2020 年度支部長（長崎大学薬学部）から、支部長を引き継ぐことになりました熊本大学工学部の井原敏博と申します。これから 1 年間どうぞよろしくお願いいたします。まず、2021 年度の支部執行部の体制を紹介させていただきます。副支部長は大学から九州大学農学部の田中 充先生、企業から同仁化学研究所の高橋政孝様にお引き受けいただきました。庶務幹事は崇城大学工学部の水城圭司先生、会計幹事は熊本大学工学部の北村裕介先生がその任にあたられます。これらの先生方と一致協力しながら支部活動が滞りなく行えるように精一杯努めさせていただきます。不慣れな点が多々あると思いますが寛容な心で見守っていただければありがたく存じます。お気付きの点、不明な点等ございましたら、ご質問、アドバイスなど何なりとご連絡いただければ幸いです。



さて、私自身は、卒業研究において九州大学工学部合成化学科の高木 誠先生が主宰されていた有機分析化学研究室に配属されて以来、35 年間日本分析化学会九州支部のお世話になってまいりました。学位取得後に同研究室、および高木研から分かれて前田瑞夫先生（現 理化学研究所）の立ち上げられた新しい研究室（片山佳樹先生の研究室に継承）で助手を務めた後に、1996 年に熊本大学に赴任いたしました。おもに DNA や RNA 等の核酸を分析ツール、あるいは分析対象としたバイオ分析の研究に携わってまいりました。最近では DNA アプタマーを用いたがん細胞の検出や mRNA の構造制御に基づいた核酸医薬の開発研究に発展させています。その間、1992 年に、まだ創設されて間もない九州分析化学奨励賞を、1998 年には支部からの推薦を受けて日本分析化学会奨励賞（「機能性 DNA 配位子を用いる核酸の新しい分析法」）を受賞させて頂きました。一方で、支部への貢献は多くはありませんが、1999 年に第 17 回の若手夏季セミナーを九州地区国立大学九重共同研修施設にて開催させていただきました。2011 年、九州大学の片山佳樹先生が支部長の年に副支部長を務めました。また、本部事業に関しては、今年度から日本分析化学会の会長を務められる上智大学の早下隆士先生（高木研究室の先輩）から引き継いで、2009 年から 5 年間 Anal. Sci. 誌の編集委員を務めました。

4 月からのワクチン接種により再び新型コロナウイルスの感染爆発が起こらないことを期待しておりますが、いまだ収束の見通しはつきません。今年度の支部行事としては、第 58 回化学関連支部合同九州大会（7 月 3 日）、第 34 回若手研究講演会および第 39 回夏季セミナー（7 月 23-24 日、世話人：九工大 佐藤しのぶ先生）、および第 62 回分析化学講習会（実行委員長：長崎大 黒田直敬先生）の開催を予定しておりましたが、現在、開催の有無、開催する場合にはその実施形態などを検討・調整しております。執行部は事業世話人と共に状況を把握し、判断し、開催について幹事の先生方と適宜相談させて頂くことになると思います。同時に、今年度は支部運営の正常化プロセスの年でもあると思っております。ポストコロナの常時の支部運営を持続可能なものにするために幹事会等の開催方法に関しても議論させて頂ければたいへん有り難く存じます。この 1 年間よろしくお願い申し上げます。

（熊本大学 井原敏博）

支部長退任のご挨拶

日本分析化学会九州支部の皆さま、こんにちは。
2020年度の支部長を仰せつかっておりました長崎大学薬学部の黒田直敬です。前任の浜瀬健司支部長（九州大学薬学部）から、2020年度支部長を引き継いでから、あっという間に1年が過ぎ去りました。この1年間の支部の活動を支えて下さいました九州支部の皆様に、まずお礼を申し上げますとともに、運営にご協力いただきました福岡大学薬学部の巴山 忠副支部長、（株）キューサイ分析研究所 栗原 龍副支部長および長崎大学薬学部 岸川直哉庶務幹事、長崎国際大学薬学部 中村沙織会計幹事にお礼申し上げます。



さて、改めてこの一年を一言で振り返りますと、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に振り回された一年でした。支部長を引き継いだ時点で既に予兆は見られていたのですが、感染症の蔓延により、支部の定例行事として予定していました第61回分析化学講習会（九州大学工学部 加地範匡実行委員長）、九州分析化学第33回若手研究講演会および第38回夏季セミナー（鹿児島大学 満塩 勝世話人）および第57回化学関連支部九州大会は、非常に残念なことですが、開催を見送る結果となってしまいました。ただ、機器分析ワークショップに関しましては、川上健次常任幹事（ジェイ・サイエンス西日本）のご尽力により、9月23日にオンライン方式による新技術インハウスセミナーとして開催することができました。一方、予定していました常任幹事会、幹事会は全てWeb会議となり、心から楽しみにしておりました支部の皆様と実際に顔を合わせる機会を任期中に持つことはできませんでした。九州分析化学会賞につきましては、佐賀大学理工学部の高椋利幸先生が「小角中性子散乱法による二成分溶媒の状態分析とその反応場としての特性」に関する研究の功績により、受賞となりました。また、九州大学大学院薬学府の謝 金玲さんが、その優れた論文「Simultaneous determination of lactate and 3-hydroxybutyrate enantiomers in mammalian physiological fluids using multi-dimensional HPLC」によって、九州分析化学奨励賞を受賞されました。高椋先生、謝さん、改めておめでとうございます。なお、両先生の講演会につきましては、次年度の然るべき機会に開催する予定になっております。また、九州分析化学ポスター賞と九州分析化学若手賞につきましては、選考の場となる各会合が中止となったために今年度の選考は行われませんでした。

自分の人生の中でこのような感染症のパンデミックに遭遇し、社会の諸機能が混乱・停滞するのを目の当たりにするとはこれまで考えたこともありませんでした。今すぐのコロナ禍の終息は見込めないかとは思いますが、幸いワクチンの投与も始まるかとしていますので好転を期待したいと思います。次年度の運営を引き受けて頂きました熊本大学大学院先端科学研究部（工）の井原敏博先生をはじめとする新執行部の皆様には、積み残しの課題や見通せない社会情勢を見越しての支部運営など、色々と大変だとは思いますが、よろしく願いいたします。最後になりましたが、コロナ禍の一刻も早い終息と、支部活動の平常化、九州支部のより一層の発展を祈念して支部長退任の挨拶とさせていただきます。

この一年間、どうもありがとうございました。

（長崎大学 黒田直敬）

支部活動報告

❖ 九州分析化学若手の会 第33回 若手研究講演会お

よび第38回 夏季セミナー ❖

2020年7月22日～23日に予定しておりました九州分析化学若手の会第33回若手研究講演会および第38回夏季セミナーは、中止いたしました。次年度の第34回若手研究講演会および第39回夏季セミナーは、代表世話人である九州工業大学の佐藤しのぶ先生によりご計画いただいております。詳細については決定次第、改めてご連絡をいたします。

❖ 第61回 分析化学講習会 ❖

2020年8月4～7日、20日に予定しておりましたが、コロナ禍のため中止といたしました。次年度の第62回分析化学講習会については、実行委員長である長崎大学大学院の黒田先生にご計画いただいております。こちらにつきましても決定次第、改めてご連絡をさせていただきます。

❖ 機器分析ワークショップ ❖

- 新技術インハウスセミナー（オンライン）
期日：2020年9月23日（水）
主催：日本分析化学会九州支部
協賛：(株)ジェイ・サイエンス西日本
後援：(株)西村商会
会場：三菱重工業(株)総合研究所・会議室
講師：熊本大学大学院先端科学研究部 大平慎一
「溶存イオンのインライン抽出による前処理・分離・精製・合成」

❖ 会議等 ❖

- 九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会
期日：2020年5月30日（土）
会場：メールによる書面会議*2020年度九州分析化学会賞受賞者1名、九州分析化学奨励賞受賞者1名については支部ニュース42号をご覧ください。
- 2020年度第1回常任幹事会
期日：2020年6月6日（土）
会場：メールによる書面会議
- 2020年度学会賞等候補者推薦委員会
期日：2020年11月6日（金）
会場：Zoomによるオンライン会議
- 2020年度幹事会
期日：2020年11月6日（金）
会場：Zoomによるオンライン会議
- 2020年度第2回常任幹事会
期日：2021年2月13日（土）
会場：Zoomによるオンライン会議

本部関連

❖ 第81回 分析化学討論会 ❖

期日：2021年5月22日（土）～23日（日）

会場：webによるオンライン開催

実行委員長：遠藤昌敏（山形大学）

討論主題：

1. ニューノーマルと分析化学
2. 実行キーで始まる分析化学
3. エクスポジームと分析化学
4. 廃炉に貢献する分析化学
5. SDGsと分析化学
6. 産業界に貢献する分析化学

※ 討論趣旨及び依頼後援は討論会HP

（<https://conference.jsac.jp/81touron/>）をご参照ください。

❖ 日本分析化学会 第70年会 ❖

期日：2021年9月22日（水）～24日（金）

会場：神戸大学鶴甲第1キャンパス（神戸市）

※ 会期・会場は変更の可能性あり。

※ 講演募集要項は「ぶんせき」誌2021年4・5月号に掲載予定です。

❖ *Analytical Sciences* 誌等への投稿のお願い ❖

国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。*Analytical Science* 誌は、優れた学術論文・総説を掲載し、併せて国際的な認知度を向上させる取り組みを行っています。例えば、J-STAGEによるオープンアクセス化、メールマガジンなどがあります。毎月各号のHot Article 選定と表彰、年間最多引用論文賞—Most Cited Paper Award of *Analytical Sciences* も好評を頂いています。投稿は完全に電子化され、スムーズかつ短期間のうちに成果を公開できます。良い研究論文はぜひ *Anal. Sci.* 誌へご投

稿ください。他のジャーナル等に投稿される場合も *Anal. Sci.* 誌の論文を引用頂けましたら幸いです。*Anal. Sci.* 誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。

❖ 2021年度 支部からの役員 ❖

副会長：原田 明（九大院総合理）

理事：黒田直敬（長崎大院医歯薬）

代議員：松森信明（九大院理）、富永昌人（佐賀大院工）、片山佳樹（九大院工）、井原敏博（熊本大院先端科学）、松井利郎（九大院農）、佐藤 博（長崎国際大薬）、光井康浩（京都電子工業）

編集委員：

「ぶんせき」井倉則之（九大院農）

「分析化学」森 健（九大工）

「*Analytical Sciences*」末田慎二（九工大工）

❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。

今後の支部活動計画

❖ 支部活動・事業予定 ❖

- 九州分析化学若手の会第 34 回研究講演会 および第 39 回夏季セミナー

期日：2021 年 7 月 23 日（金）～24 日（土）

会場：アクティブリゾート福岡八幡

世話人：佐藤しのぶ（九工大工）

※ 開催方法の詳細が決定しましたら改めてお知らせ致します。

- 第 58 回 化学関連支部合同九州大会

期日：2021 年 7 月 3 日（土）

会場：北九州国際会議場（北九州市）

発表申込期間：3 月 1 日（日）～4 月 9 日（金）

※ 開催方法の検討のため申込開始が 3 月中旬ごろに延期されました。

予稿原稿締切：5 月 14 日（金）

発表形式：一般・学生発表はポスター発表のみ。ほか依頼講演（8 件、各支部推薦）

支部推薦依頼講演：

「酵素反応を基軸としたタンパク質分析に資する蛍光ラベル化技術の開発」

末田 慎二（九州工業大学）

代表世話人：梶原稔尚（九州大学）

* 詳細は下記 WEB サイトをご覧ください。

<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>

- 第 62 回 分析化学講習会

期日：2021 年 8 月上旬予定

会場：九州大学伊都キャンパス、九州大学馬出キャンパス、福岡大学理学部、福岡市産学連携交流センター

内容

1. ガスクロマトグラフィー
2. 高速液体クロマトグラフィー

3. 誘導結合プラズマ質量分析法（ICP-MS）

4. X線分析（X-ray）

5. 電子顕微鏡分析（SEM/TEM）

6. 核磁気共鳴分光法（NMR）

参加費：主催・共催会員 35,000 円

会員外 45,000 円

学生 15,000 円

実行委員長：黒田直敬（長崎大院医歯薬）

❖ 2021 年度 支部執行部・役員 ❖

- 執行部

支部長： 井原敏博（熊大院先端）

次期支部長： 富安卓滋（鹿児島大院理工）

副支部長： 田中 充（九大院農）

高橋政孝（株式会社同仁化学研究所）

監査： 黒田直敬（長崎大院医歯薬）

栗原 龍（(株)キューサイ分析研究所）

庶務幹事： 水城圭司（崇城大工）

会計幹事： 北村裕介（熊大院先端）

- 常任幹事（13 名）

（九工大・福教大・九共大）原田雅章（福岡教育大）

（九大院理） 松森信明（九大院理）

（九大院工） 高橋幸奈（九大 I²CNER）

（九大院薬・第一薬大）浜瀬健司（九大院薬）

（九大院農・九産大・福女大）石川洋哉（福女大）

（九大筑紫・近大九州工）稲田 幹（九大中央分析セ）

（福岡大） 栗崎 敏（福大理）

（佐賀） 松田直樹（産総研）

（長崎・熊本） 大庭義史（長崎国際大薬）

（長崎・熊本） 西田正志（崇城大工）

（大分・宮崎） 大島達也（宮崎大工）

（鹿児島・沖縄） 吉留俊史（鹿児島大院理）

（企業・官公庁） 川上健次（(株)ジェイ・サイエンス西日本）

事務局より

❖ 各賞推薦依頼および規定 ❖

▼ 九州分析化学会賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として九州在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会の正会員にして、分析化学に関する研究、教育及び九州支部の運営において功績が顕著であり、九州の分析化学の発展に多大なる貢献をした者で、受賞の年の1月1日現在、原則として20年間以上引き続き本会会員であり、満65歳以下の者。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の業績目録、被推薦者本人による業績内容の説明文（図表等を含めA4紙4枚程度、教育・支部運営についてA4紙1枚程度、英文も可）の正本1部、写し9部（計10部）を4月末日までに支部長に送付。

▼ 九州分析化学奨励賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として、九州に在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会会員で、受賞年度の4月1日において満30歳未満の者。ただし、修士課程（博士前期課程）及び博士課程（博士後期課程）に在籍する場合には満35歳未満の者。非会員は受賞時まで日本分析化学会の入会申請をしなければならない。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の論文目録、講演題目のリスト及び論文等の別刷りの一部（複数可）、さらに被推薦者本人による研究内容の説明文（A4紙2枚、英文可）及び図表等（5枚程度）の正本1部、写し8部（計9部）を指定期日（受付期間：4月1日～4月30日）までに支部長に送付。

*募集要項の詳細は支部のホームページをご覧ください。申請に必要な書類ファイルもダウンロードできます。

❖ 編集後記 ❖

新型コロナウイルス感染症の騒動の中、あっという間に一年が過ぎ去ってしまいました。黒田支部長をはじめ、栗原副支部長、岸川庶務幹事、中村会計幹事の細やかな支部運営に支えていただき、感謝申し上げるとともに、私の副支部長としての任もこの支部ニュース（43号）の発行を持ちまして終了となりますことに安堵しております。

2021年度の大学側副支部長は九州大学大学院農学研究院の田中 充 先生です。お若く、パワフルな田中先生には、井原支部長、水城庶務幹事、北村会計幹事とともに、必ずや九州支部をより一層盛り上げていただけるものと確信しております。

最後になりますが、会員の皆様には一年間のご支援に感謝いたしますと共に、次年度以降も日本分析化学会九州支部への一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。まだまだ新型コロナウイルス禍が収束する気配はみえそうにありませんが、会員の皆様におかれましては、なにとぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。

（副支部長 巴山 忠）



2020 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒852-8521 長崎県長崎市文教町 1-14
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
薬品分析化学研究室

支部長	黒田 直敬（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科） n-kuro@nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2894
副支部長	巴山 忠（福岡大学薬学部） thayama@fukuoka-u.ac.jp / 092-871-6631
副支部長	栗原 龍（(株)キューサイ分析研究所） ry_kurihara@qken.net / 099-258-1777
庶務幹事	岸川 直哉（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科） kishika@nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2445
会計幹事	中村 沙織（長崎国際大学薬学部） s-ichi@niu.ac.jp / 0956-20-5753